



第2回デジタル活用推進検討懇談会

2024年11月26日 13時～15時
佐渡市役所本庁2階 大会議室



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 「佐渡市デジタル活用計画（案）」の認識合わせ
 - 2) 第1回の質問事項への回答
 - 3) 今後のPDCA体制について
 - 4) その他（次回日程）
- 4 閉会



2 座長あいさつ



3 議事

1) 「佐渡市デジタル活用計画（案）」の認識合わせ

前回認識合わせができなかった基本目標2、3、5について、
3テーブルに分かれて実施します。（以下の視点で）

① デジタル活用施策への意見

- ・ 良い点
- ・ 悪い点（もっとこうの方がよい）
- ・ 疑問
- ・ アイディア

（悪い点からの改善、他にも市内でこんなことやってるよ！）



3 議事

2) 第1回の質問事項への回答



No.1	
担当課	生活環境課
計 画	【デジタル活用施策07】 「ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化による市民意識の啓蒙」
質 問	KPIとして、「①ごみ排出量見える化サイトのページビュー数（年間）」「②CO2 排出量見える化サイトのページビュー数（年間）」が設定されており、令和8年度のKPIが3,000件とされています。計画では令和7年度に「実現方法検討」とされていますが、本来であれば令和7年度にはコンテンツを整備しなければならないので、実行フェーズからすると令和6年度にはコンテンツ内容の検討が必要であると思います。 そこで、以下2点について質問いたします。 ①削減量として見える化するためにどのようにして検討していくのか教えてください ②計画の時期的な部分の修正が必要と思いますが、「実現方法検討」「コンテンツ整備」について具体的にはいつ頃（令和何年？）に実施することになりますか？
回 答	①削減量として見える化するために、燃えるごみ焼却量とそれに係るCO2の数値を定期的にホームページに公表し、一般廃棄物処理基本計画の目標値を指標に、ごみの分別の推進、生ごみの減量化の啓発活動を行い、市民の協力でごみ排出量の減少に寄与する様に検討したいと考えています。 ②計画の時期については、令和6年度に災害復旧工事により2つある焼却炉が1炉運転、令和7年度から令和9年度にかけて、市内唯一の佐渡クリーンセンターが改修し新しい設備の仕様も固まっておらず、同様に運転状況など工事の進捗により変動が考えられますが、工事の契約後の令和7年度中からデータの精査をし、比較しやすいものを分かりやすく示せるように取り組みたいと考えています。



No.2	
担当課	生活環境課
計 画	【デジタル活用施策07】 「ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化による市民意識の啓蒙」
質 問	「CO2 排出量の見える化」は何か必要性があって計画に搭載しているのですか？国から求められているであるとか、あるいはTNFD（自然関連財務情報開示タスクフォース）の地域版のように情報の開示が求められているのでしょうか？教えてください。
回 答	ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化については国から求められているわけではありません。 ごみの減量化、再資源化への取り組みについて、CO2の排出量を市民に示すことにより意識を高める効果を期待しています。



No.3	
担当課	総合政策課
計 画	
質 問	カーボンプレジットには取り組まないのですか？ 既に柏崎市ガス水道局と第四北越銀行で取引があるように、カーボンプレジットのシステム自体は仕組みがあるので利用するだけで、仕組みを作るところから始める必要もありません。 「佐渡市は取り組まない」というのならそれはそれでよいですが、取り組まない理由についてはしっかりとした説明をしていただきたいです。
回 答	現在、経済産業省、環境省、農林水産省の3省で運営するJ-クレジット制度の活用について、佐渡市にあった方法論やストーリーなど、有識者や地域金融機関、既に取り組をされている企業等と意見交換しながら検討しているところです。



No.4	
担当課	生活環境課
計 画	【デジタル活用施策07】 「ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化による市民意識の啓蒙」
質 問	「前年度からの改善点 今後の計画及び内容」に「令和6年度には生ごみコンポストの事業を開始します」とありますが、コンポストの事業については以前も実施していた事業であり、なぜまたコンポストなのですか？ コンポスト設置できるようなお宅であればよいが、管理が大変です。 特に夏場は生ごみを入れたら虫が湧くばかりで、糠を入れたり籾殻を入れたり土を入れたり、混ぜて発酵を促す必要もあり、ただ置いてごみを捨てるだけという訳にはいきません。そこにお金を使うのであれば、「健幸ぽいんと」などと連携して、日々の食事から廃棄物を出さないような啓発活動にお金を使った方がよいと思います。施設に生ごみ処理機を導入した方がよいと思います。 コンポストの事業を開始する理由に付随して、その他の手段をしない理由の説明をしていただきたいです。
回 答	過去に行ったコンポスト事業は、新穂地区で行った人が2人ほど入れる規模の大きなコンポストを配布する実験的なモデル事業や、コンポストの購入補助制度でした。 購入補助制度は、全世帯の4分の1に達したため、効果を得たと判断し制度も終了しましたが、ご提言のとおり定着しておりません。 生ごみの堆肥化は、市内にも事業化していた会社がありましたが、安定的に収集できないことや、成分が不規則であることから事業継続が難しく、現在は行っていません。 よって、一般家庭やアパート等でも実施できる手軽なものに着目し、生ごみの減量化を身近に、そして広く意識啓発できる事業として、消費者協会と連携し段ボールコンポストの普及・推進を実施しています。



No.5	
担当課	防災課
計 画	
質 問	ほとんどのテレビがデジタル放送に対応しているのに、地区の集会施設にアナログテレビが残っています。 市は各地域が対応すべきこととして認識しているようですが、避難所になっている施設もあるのではないのでしょうか？ 避難時にはテレビは大事な情報源になりますが、避難所施設のテレビがデジタル放送に対応しているか否かについては把握していますでしょうか？ アナログテレビが残っている施設には、防災の観点からどのような対策を講じられますでしょうか？教えてください。
回 答	地区避難場所となっている公民館などのテレビについては把握しておりません。 地区避難場所については、地域で維持管理しているものになります。自主防災会で発電機などの購入の際は補助しておりますが、テレビは対象としていません。 防災課としては、災害時の情報の手段として公民館等に緊急情報システムを設置していただき、市からの緊急情報やラジオから情報を入手していただきたいと考えております。 以上のことからテレビのデジタル化については、共助の観点から対策を進めていただきたいと考えております。



3 議事

3) 今後のPDCAの体制について

回す仕組み。チェックする仕組み。
市役所以外の実組をどう扱うのか。
市の動きをどう吸い上げるのか（余すところなく）



3 議事

4) その他（次回日程）



4 閉会



<https://www.city.sado.niigata.jp/>